

平成21年度実施協働事業の振り返り(気づきの共有から改善へ)

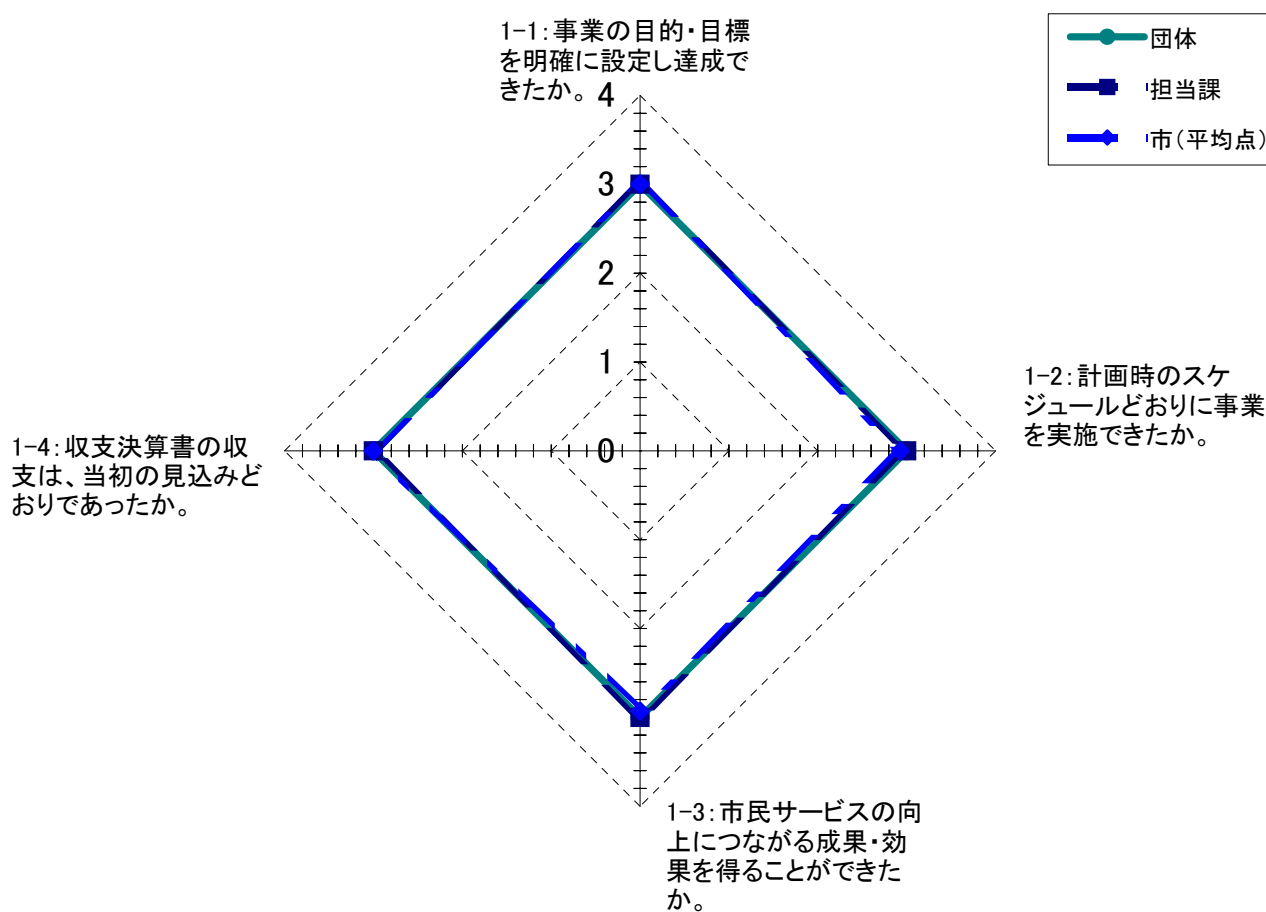
事業名 防犯対策システム運営事業
 団体名 (特非)地域魅力
 担当課 市民自治推進課

【採点基準】

できなかった	0
あまりできなかった	1
ほぼできた	2
できた	3
非常によくできた	4

1、事業結果の振り返り(効果・成果)

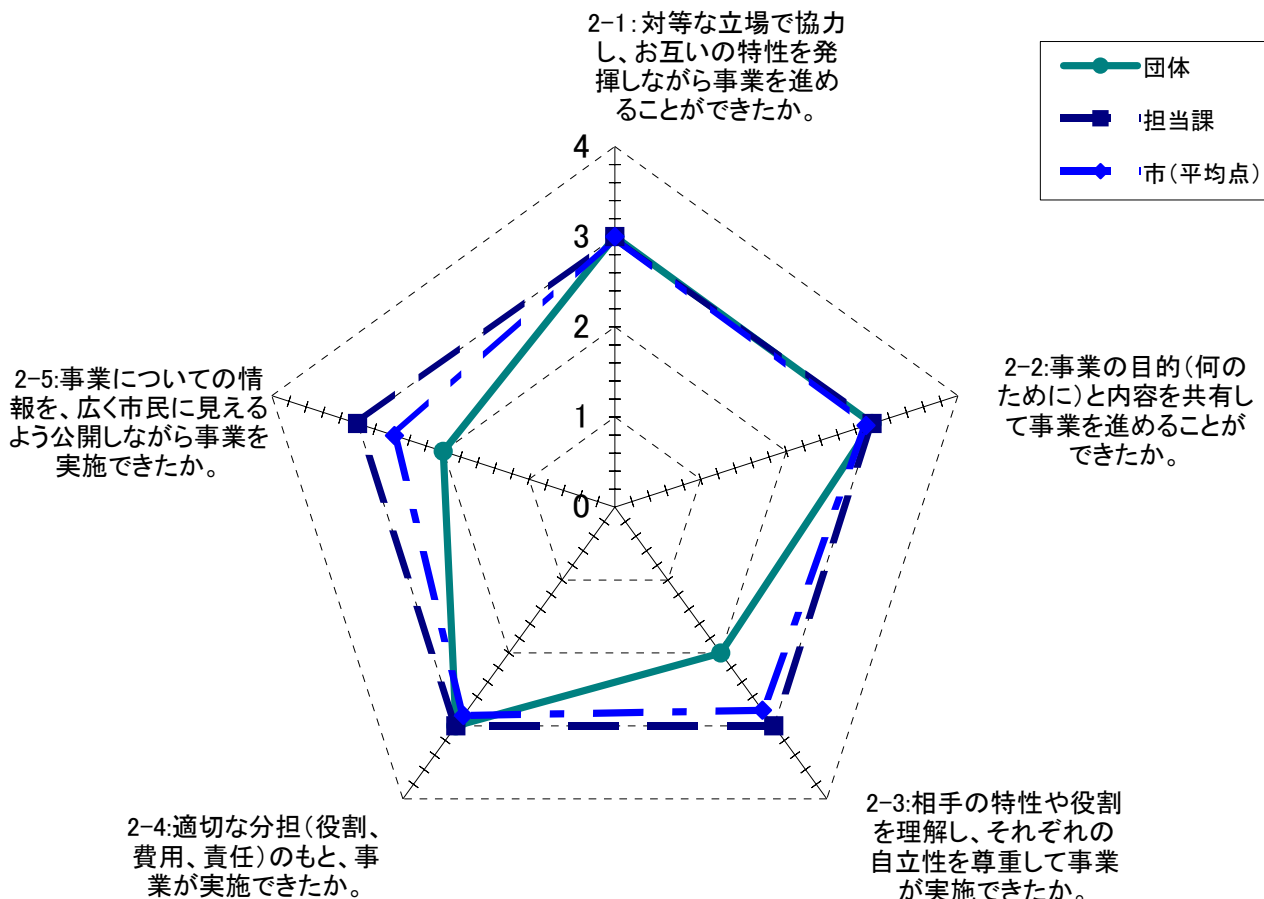
設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
1-1	事業の目的を明確に設定できていたか。	3	3	3.00
1-2	計画時のスケジュールどおりに事業を実施できたか。	3	3	2.93
1-3	市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたか。	3	3	2.93
1-4	収支決算書の収支は、当初の見込みどおりであったか。	3	3	3.00



団体・担当課の評価は全ての項目について「できた」としており、一致しています。また、市の評価については、1-2、1-3の項目において団体・担当課の点数をわずかに下回るものの、ほぼ均一な結果となりました。3者のグラフの形状はほぼ一致しています。このことから、本事業については当初の目的・目標、スケジュール、収支予算が的確に設定されて実施されたと考えられ、事業の高い達成度がうかがえます。今後は、更に市民サービスの向上につながる成果・効果を得られるよう、事業を展開していただきたいと思ひます。

2、協働の原則からの振り返り

設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
2-1	対等な立場で協力し、お互いの特性を發揮しながら事業を進めることができたか。	3	3	3.00
2-2	事業の目的(何のために)と内容を共有して事業を進めることができたか。	3	3	2.93
2-3	相手の特性や役割を理解し、それぞれの自立性を尊重して事業が実施できたか。	2	3	2.79
2-4	適切な分担(役割、費用、責任)のもと、事業が実施できたか。	3	3	2.86
2-5	事業についての情報を、広く市民に見えるよう公開しながら事業を実施できたか。	2	3	2.57



2-3と2-5について、団体は「ほぼできた」としているのに対し、担当課は「できた」としており、団体と担当課の評価に若干の相違が見られます。担当課と市のグラフは、市の点数が2-3、2-5についてわずかに下回るものの、全ての項目について均一で、グラフの形状は相似しています。本事業については協働の原則に基づいて事業が行われたと考えられます。今後は、事業を実施する中でお互いの特性・役割についての理解を深め、また、市民に事業の情報を広く市民に見えるように留意し、事業を発展させていただきたいと思えます。

3 講評

市民の防犯にかかわるインフラストラクチャーとして整備されつつあるとの印象を受けた。内容は平凡だが、今後の方向性が外部資金の獲得という形で示されているのは心強い。また、地域に密着した取り組みが進められるなど、自律的なシステムへの展開もうかがえる。平成19年度～平成21年度の反省点を踏まえて、対応策については平成22年度以降の事業において実現できるよう努めてほしい。より多くの市民に認知され、協力が得られるよう期待する。

※この講評は、協働事業を実施した団体と担当課及び審査選定を行った市の協働事業推進会議と審査選定にご意見を頂いた市の審議会である藤沢市市民活動推進委員会からの意見について、代表的なものを要約してまとめたものです。

平成21年度実施協働事業の振り返り(気づきの共有から改善へ)

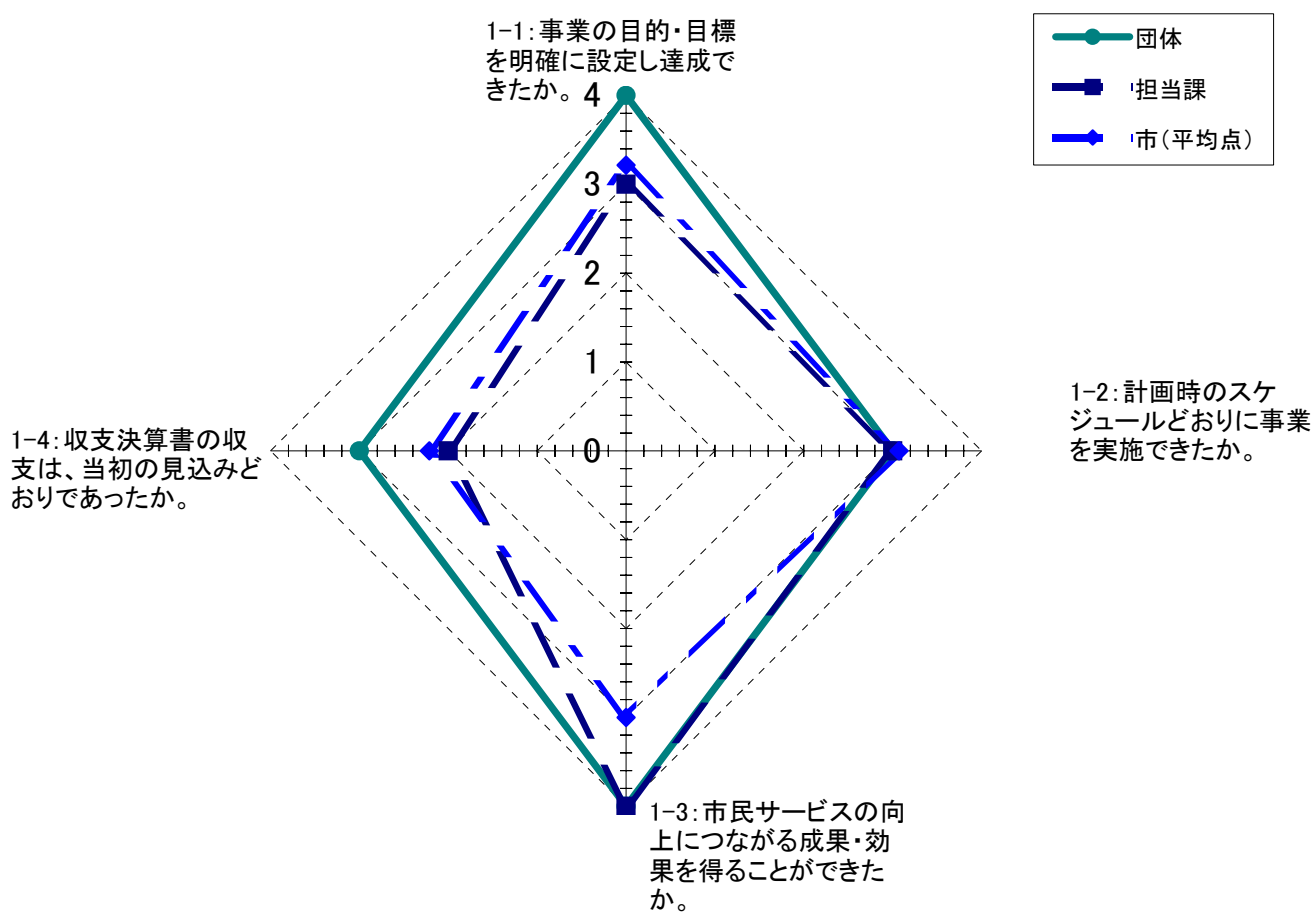
事業名 地域ポータルサイト(えのしま・ふじさわポータルサイト)運営事業
 団体名 (特非)湘南ふじさわシニアネット
 担当課 IT推進課

【採点基準】

できなかった	0
あまりできなかった	1
ほぼできた	2
できた	3
非常によくできた	4

1、事業結果の振り返り(効果・成果)

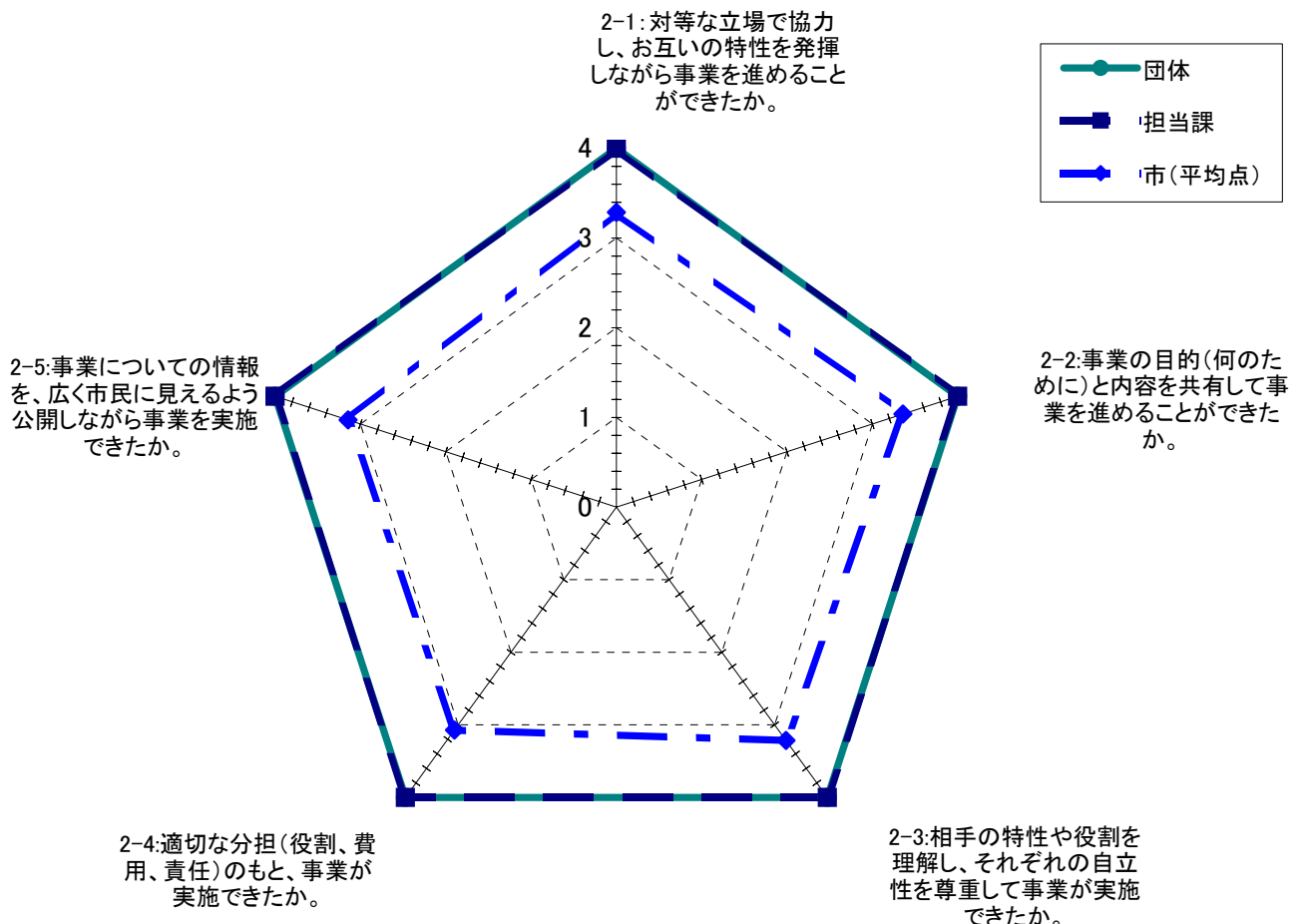
設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
1-1	事業の目的を明確に設定できていたか。	4	3	3.21
1-2	計画時のスケジュールどおりに事業を実施できたか。	3	3	3.07
1-3	市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたか。	4	4	3.00
1-4	収支決算書の収支は、当初の見込みどおりであったか。	3	2	2.21



担当課・団体・市の3者のグラフの傾向については、点数に若干の違いがあるものの、似ています。また、1-4以外の項目は3者ともに「できた」以上の高い評価となっています。また、1-3については、団体・担当課ともに「非常によくできた」としています。このことから、本事業については、的確な目的・目標・スケジュール設定の下、団体・担当課の満足のいく成果・効果を得られた達成度の高い事業であったと言えます。今後は収支予算の設定に留意して、事業を展開していただきたいと思ます。

2、協働の原則からの振り返り

設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
2-1	対等な立場で協力し、お互いの特性を發揮しながら事業を進めることができたか。	4	4	3.29
2-2	事業の目的(何のために)と内容を共有して事業を進めることができたか。	4	4	3.36
2-3	相手の特性や役割を理解し、それぞれの自立性を尊重して事業が実施できたか。	4	4	3.21
2-4	適切な分担(役割、費用、責任)のもと、事業が実施できたか。	4	4	3.07
2-5	事業についての情報を、広く市民に見えるよう公開しながら事業を実施できたか。	4	4	3.14



全ての項目について、団体・担当課が「非常によくできた」との評価をしています。市の点数は担当課・団体の点数より少し下回るものの、高い評価をしており、団体・担当課と市のグラフの形状は相似しています。団体と担当課の点が全ての項目において最高点で一致することは特筆すべきことであり、団体と担当課の間で充実した協働事業が実施されたことがうかがえます。今後もこのようなよい関係性の下、協働して事業を発展させていただきたいと思えます。

3 講評

3年間の協働事業を経験し、サイトが充実し、また、より多くの市民に利用されるようになったことがうかがえる。協働の最終年度では、民設化にむけ、勉強会や交流会を実施するなど将来への準備が行われたことを評価する。内容がわかりやすく、調べやすいサイトになっており、周知が進むことにより広告収入が増し、財源確保につながるかと思うので周知方法に工夫が必要ではないかと思う。動画作成、アクセスの伸び、広告収入のどれもが進んでいて、力のある団体ゆえに成果・課題の認識も適切。民設でもうまいけるのでは。

※この講評は、協働事業を実施した団体と担当課及び審査選定を行った市の協働事業推進会議と審査選定にご意見を頂いた市の審議会である藤沢市市民活動推進委員会からの意見について、代表的なものを要約してまとめたものです。

平成21年度実施協働事業の振り返り(気づきの共有から改善へ)

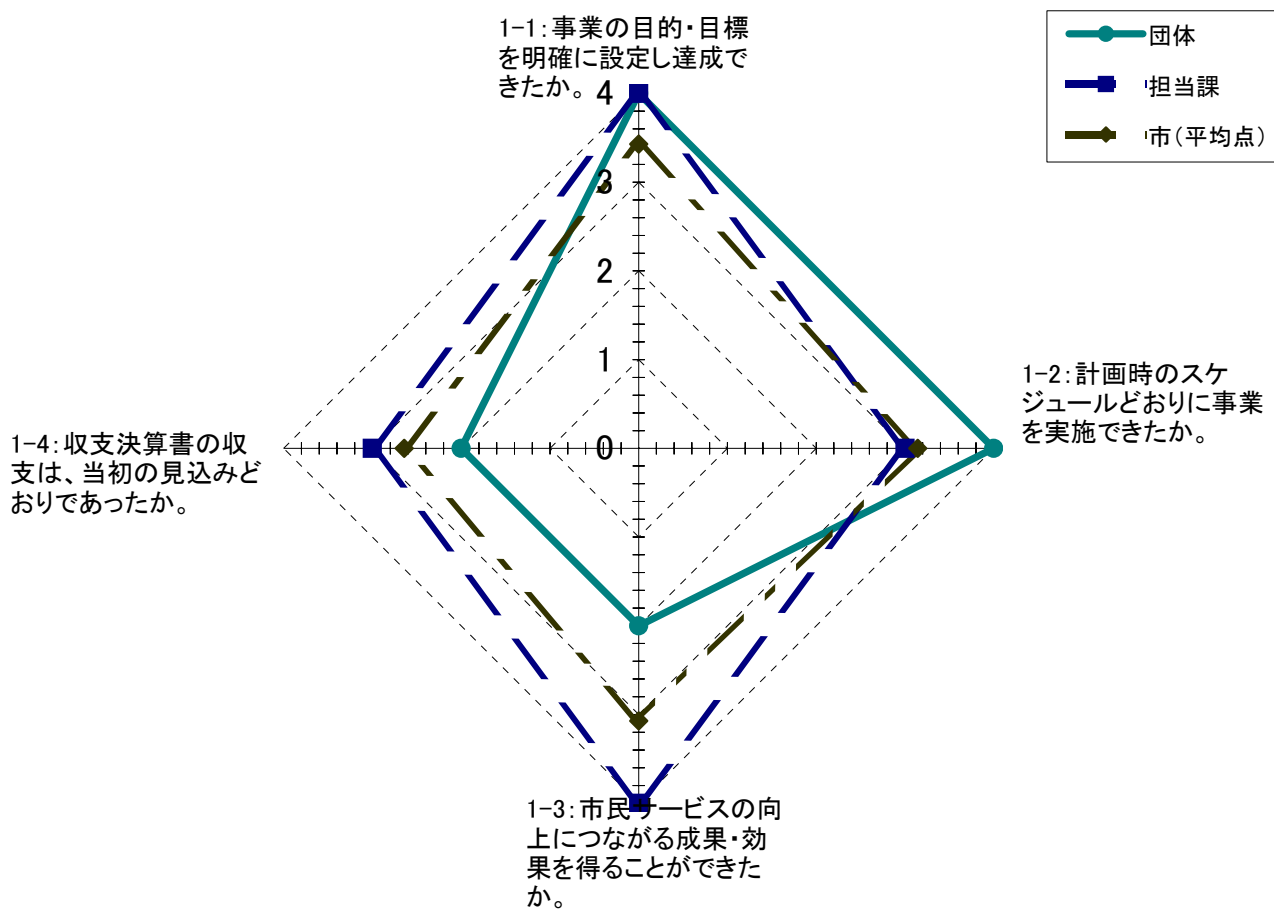
【採点基準】

事業名 緑地(里地里山)保全活動事業
 団体名 (特非)藤沢グリーンスタッフの会
 担当課 公園みどり課

できなかった	0
あまりできなかった	1
ほぼできた	2
できた	3
非常によくできた	4

1、事業結果の振り返り(効果・成果)

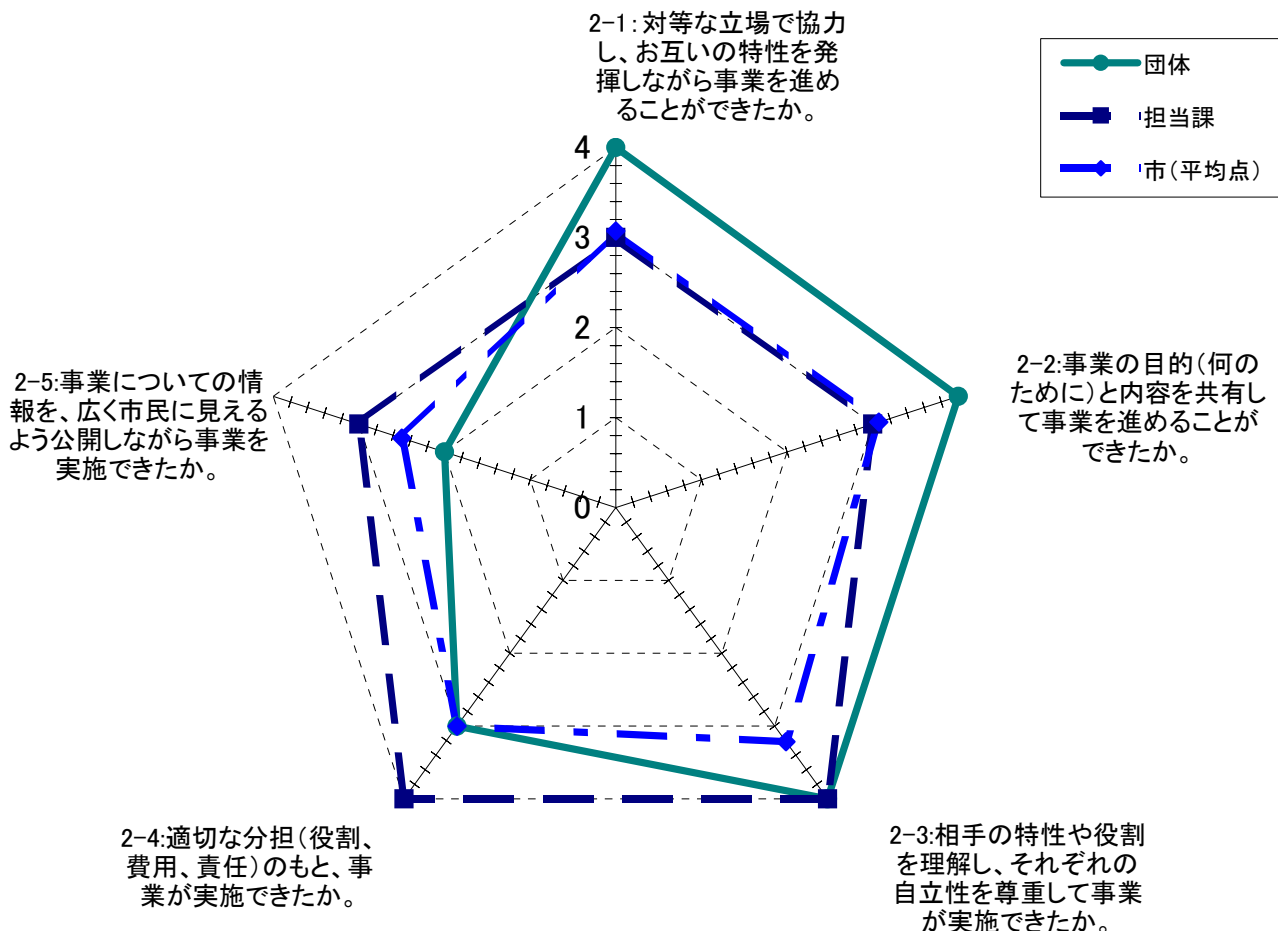
設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
1-1	事業の目的を明確に設定できていたか。	4	4	3.43
1-2	計画時のスケジュールどおりに事業を実施できたか。	4	3	3.14
1-3	市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたか。	2	4	3.07
1-4	収支決算書の収支は、当初の見込みどおりであったか。	2	3	2.64



担当課の評価は全ての項目について「できた」以上の高い点数をつけていますが、団体は1-3および1-4について「ほぼできた」と評価しており、特に1-3については団体と担当課の評価に点差が生じています。団体と担当課のグラフは形状が異なりますが、担当課と市のグラフについては、点数に若干の差があるものの、傾向は似ています。これらのことから、本事業は事業の目的・目標を達成し、市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたといえますが、今後は収支予算の設定に留意し、また、団体が市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたことと充実感を持てるよう、事業が展開されることを期待します。

2、協働の原則からの振り返り

設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
2-1	対等な立場で協力し、お互いの特性を發揮しながら事業を進めることができたか。	4	3	3.07
2-2	事業の目的(何のために)と内容を共有して事業を進めることができたか。	4	3	3.07
2-3	相手の特性や役割を理解し、それぞれの自立性を尊重して事業が実施できたか。	4	4	3.21
2-4	適切な分担(役割、費用、責任)のもと、事業が実施できたか。	3	4	3.00
2-5	事業についての情報を、広く市民に見えるよう公開しながら事業を実施できたか。	2	3	2.50



団体は2-5以外の項目に「できた」以上の点数をつけ、担当課は全ての項目に「できた」以上の点数をつけています。団体と担当課の評価には相違が見られますが、2-3については、団体・担当課ともに「非常によくできた」としています。市は、2-5については他の項目より若干低い点数となっていますが、全体的に高い点数をつけています。本事業については協働の原則に基づいて充実した事業が行われたと考えられます。今後は事業についての情報を、広く市民に見えるよう工夫をしながら、事業を発展させていただきたいと思ひます。

3 講評

最低限の持続可能性を担保できるだけのスキル・人材・地域との関係性がはぐくまれたと思う。市民が強くなったという感想を持った。この事業は現場を任せる実働部隊を養成し、管理していくことを目的に始まったが、FGS+地域住民等で保全するための提案や働きかけも事業内容となるようにできないか。FGSは緑地と地域住民・市民をつなぐコーディネーターとなっほしい。また、平成19年度～平成21年度の事業実施の中で生じた疑問点について、平成22年度以降の事業を展開する過程で「管理保全方針」を検討し、具体的な方策として推進していただきたい。

※この講評は、協働事業を実施した団体と担当課及び審査選定を行った市の協働事業推進会議と審査選定にご意見を頂いた市の審議会である藤沢市市民活動推進委員会からの意見について、代表的なものを要約してまとめたものです。

平成21年度実施協働事業の振り返り(気づきの共有から改善へ)

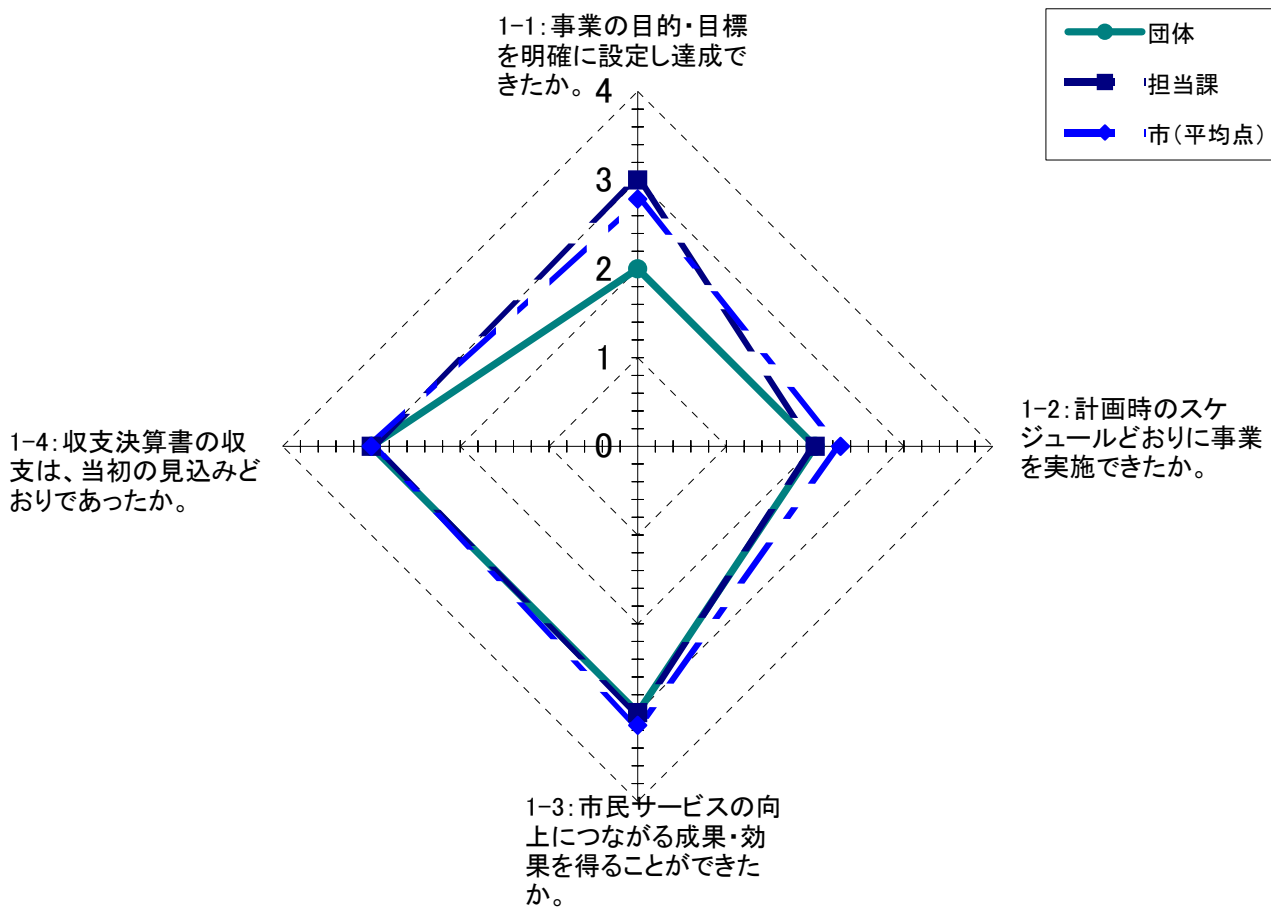
【採点基準】

事業名 子育て情報プラットフォーム運営事業
 団体名 (特非)地域魅力
 担当課 子育て支援課

できなかった	0
あまりできなかった	1
ほぼできた	2
できた	3
非常によくできた	4

1、事業結果の振り返り(効果・成果)

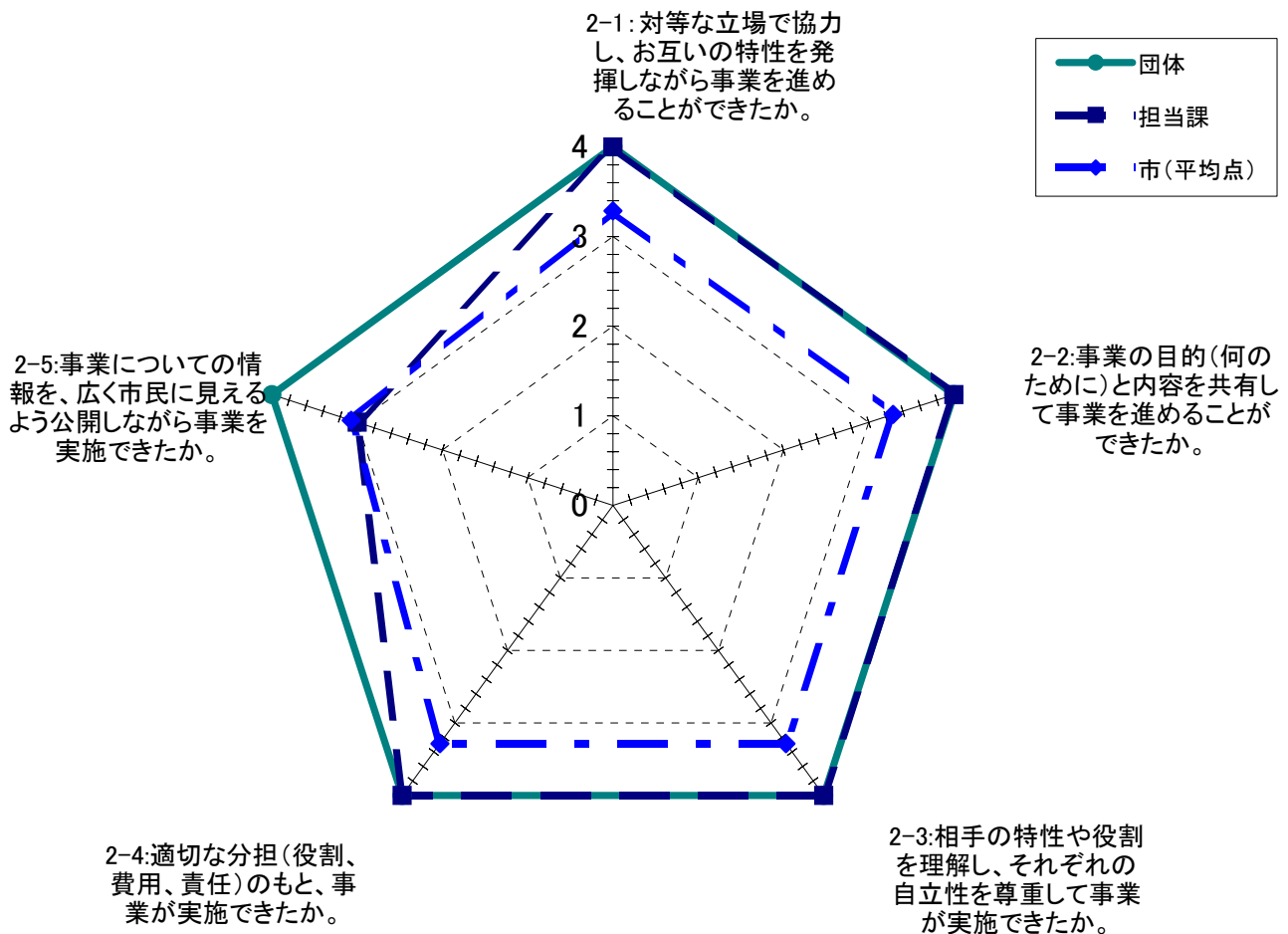
設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
1-1	事業の目的を明確に設定できていたか。	2	3	2.79
1-2	計画時のスケジュールどおりに事業を実施できたか。	2	2	2.29
1-3	市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたか。	3	3	3.14
1-4	収支決算書の収支は、当初の見込みどおりであったか。	3	3	3.00



担当課と市のグラフについては、項目によって若干の点差がありますが、ほぼ一致しています。団体の評価は1-1について、担当課・市が「できた」と評価しているのに対し、「ほぼできた」としている以外、担当課・市と一致しています。本事業においては、当初の収支の見込みどおりに事業が実施され、市民サービスの向上につながる成果・効果を得られたと言えます。今後は、より明確な目標設定を行い、計画時のスケジュールに十分留意しながら、事業が展開されることを期待します。

2、協働の原則からの振り返り

設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
2-1	対等な立場で協力し、お互いの特性を發揮しながら事業を進めることができたか。	4	4	3.29
2-2	事業の目的(何のために)と内容を共有して事業を進めることができたか。	4	4	3.29
2-3	相手の特性や役割を理解し、それぞれの自立性を尊重して事業が実施できたか。	4	4	3.29
2-4	適切な分担(役割、費用、責任)のもと、事業が実施できたか。	4	4	3.29
2-5	事業についての情報を、広く市民に見えるよう公開しながら事業を実施できたか。	4	3	3.07



団体は全ての項目について「非常によくできた」と高い点数をつけており、また、担当課も2-5を除いて「非常によくできた」と高い評価をしています。市の評価についても、団体・担当課の評価を下回るものの、全ての項目について均等で高い点数になっています。本事業については、団体・担当課の評価が高い点数で一致していることから、充実した協働事業が実施され、団体と担当課でいかに情報共有や連携が取れていたかがうかがえます。今後は、事業についての情報が広く市民に見えるよう、さらに工夫を

3 講評

ポータルサイトと会議室(えんじえるリング)が着実に充実していき、子育てを行う市民の有用なサイトとなっていることがうかがえる。ポータルサイト整備、コンテンツ、マップの充実、対面ミーティング開催はどれも水準以上だが、コミュニティ形成は電子会議室に固執することで失敗している。対象者に合わせてネット上の議論の場を用意すべき。また、子育てに関わる案件については、ウェブサイト上で全てが解決できるものではないので、オフラインの活動を充実していただきたい。今後は、市からの情報だけではなく、子育て中の市民や民間団体からの情報がより充実されるよう、仕組みやルールを決めることが求められていると思われる。

※この講評は、協働事業を実施した団体と担当課及び審査選定を行った市の協働事業推進会議と審査選定にご意見を頂いた市の審議会である藤沢市市民活動推進委員会からの意見について、代表的なものを要約してまとめたものです。

平成21年度実施協働事業の振り返り(気づきの共有から改善へ)

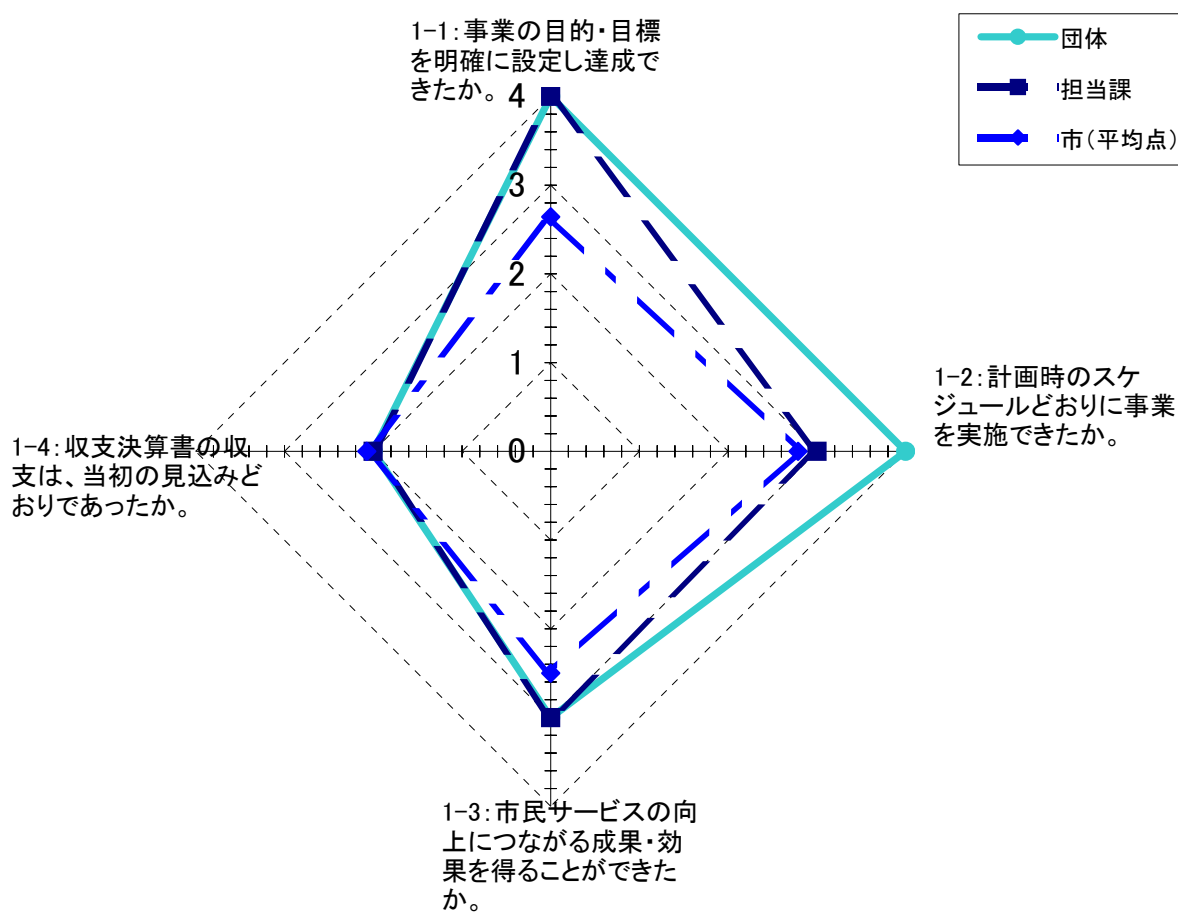
【採点基準】

事業名 文書館収蔵資料デジタル展示推進事業
 団体名 (特非)湘南市民メディアネットワーク
 担当課 文書館

できなかった	0
あまりできなかった	1
ほぼできた	2
できた	3
非常によくできた	4

1、事業結果の振り返り(効果・成果)

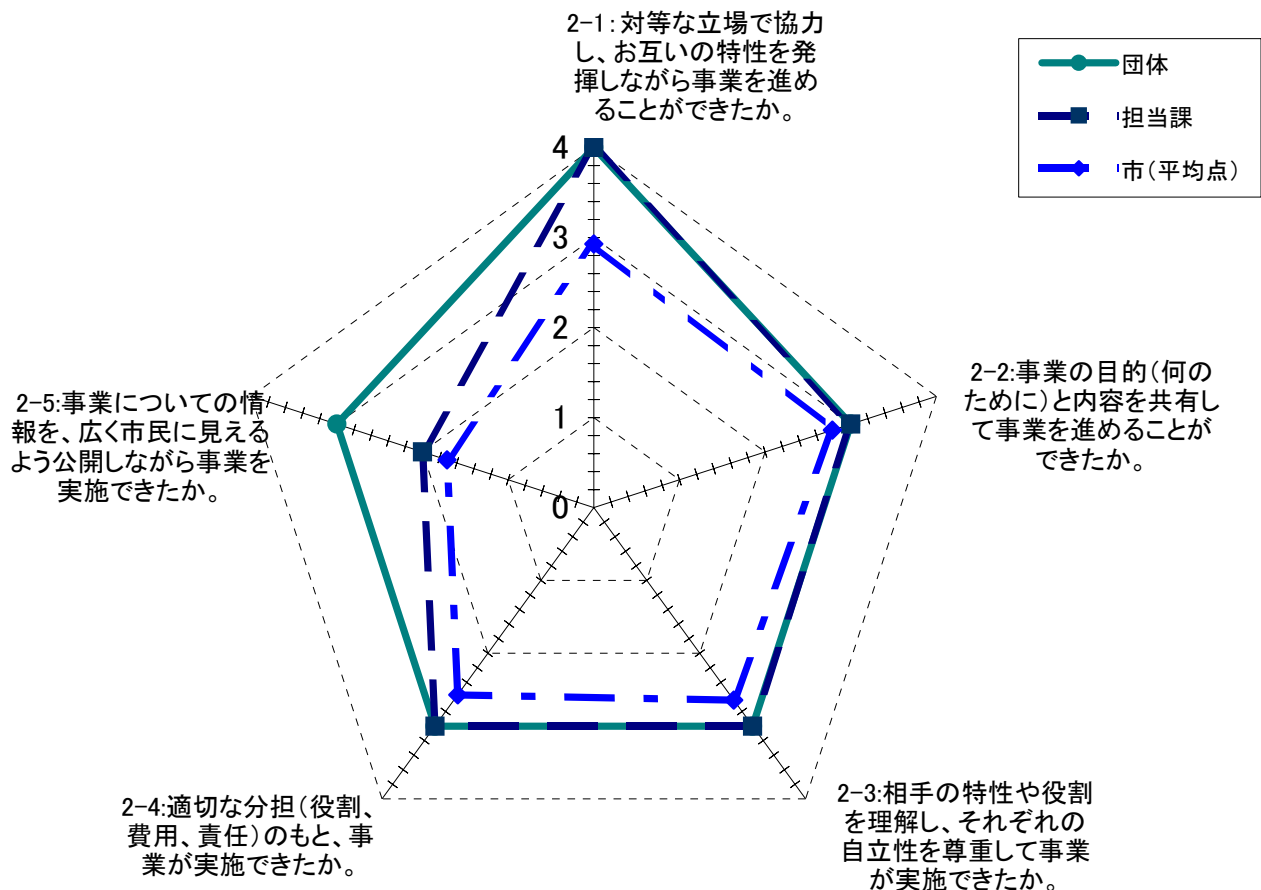
設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
1-1	事業の目的を明確に設定できていたか。	4	4	2.64
1-2	計画時のスケジュールどおりに事業を実施できたか。	4	3	2.79
1-3	市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたか。	3	3	2.50
1-4	収支決算書の収支は、当初の見込みどおりであったか。	2	2	2.07



1-4については、団体・担当課・市の3者とも「ほぼできた」としています。その他の項目については、団体・担当課ともに高い点数をつけています。市の点数は1-4を除いて団体・担当課の点数を下回っており、1-1については団体・担当課と市との点数に差が生じています。3者のグラフの傾向は似ています。本事業については、当初の目的・目標を達成し、市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたと考えられます。今後は、事業の目的・目標をより明確にし、収支予算に留意してさらに事業を発展させていただきたいと思えます。

2、協働の原則からの振り返り

設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
2-1	対等な立場で協力し、お互いの特性を發揮しながら事業を進めることができたか。	4	4	2.93
2-2	事業の目的(何のために)と内容を共有して事業を進めることができたか。	3	3	2.79
2-3	相手の特性や役割を理解し、それぞれの自立性を尊重して事業が実施できたか。	3	3	2.64
2-4	適切な分担(役割、費用、責任)のもと、事業が実施できたか。	3	3	2.57
2-5	事業についての情報を、広く市民に見えるよう公開しながら事業を実施できたか。	3	2	1.71



2-5以外の項目については、団体・担当課ともに同評価で「できた」以上の高い評価をしています。市の点数は全ての項目について団体・担当課を下回る結果となりました。特に2-5について、団体と担当課・市の評価に差が生じています。本事業については、協働の原則に基づいて事業が実施されたことがうかがえますが、今後は情報を広く市民に見えるように工夫し、充実した協働事業が行えるよう、努めていただきたいと思います。

3 講評

文書館が収蔵する資料を広く市民が利用できるようにするための意義ある事業と考える。担当課との認識のズレということが書かれていたが、協働の原則に照らしあわせ、最後の1年間、充実した取り組みとなることを願いたい。デジタルコンテンツ作りは作成後どのくらいのアクセスや利用のされ方があるのかを検証し、教育現場での活用の仕方などを積極的に広報したり、働きかけをしたりする姿勢が必要だと思う。ホームページ作成における民間企業への発注とNPOとの協働との違いがわからない。協働事業で行った意義を今後展開してほしい。また、今後、資料や検索システムの充実とともに、文書館にて自立的な運営ができるような環境の構築が期待される。

※この講評は、協働事業を実施した団体と担当課及び審査選定を行った市の協働事業推進会議と審査選定にご意見を頂いた市の審議会である藤沢市市民活動推進委員会からの意見について、代表的なものを要約してまとめたものです。

平成21年度実施協働事業の振り返り(気づきの共有から改善へ)

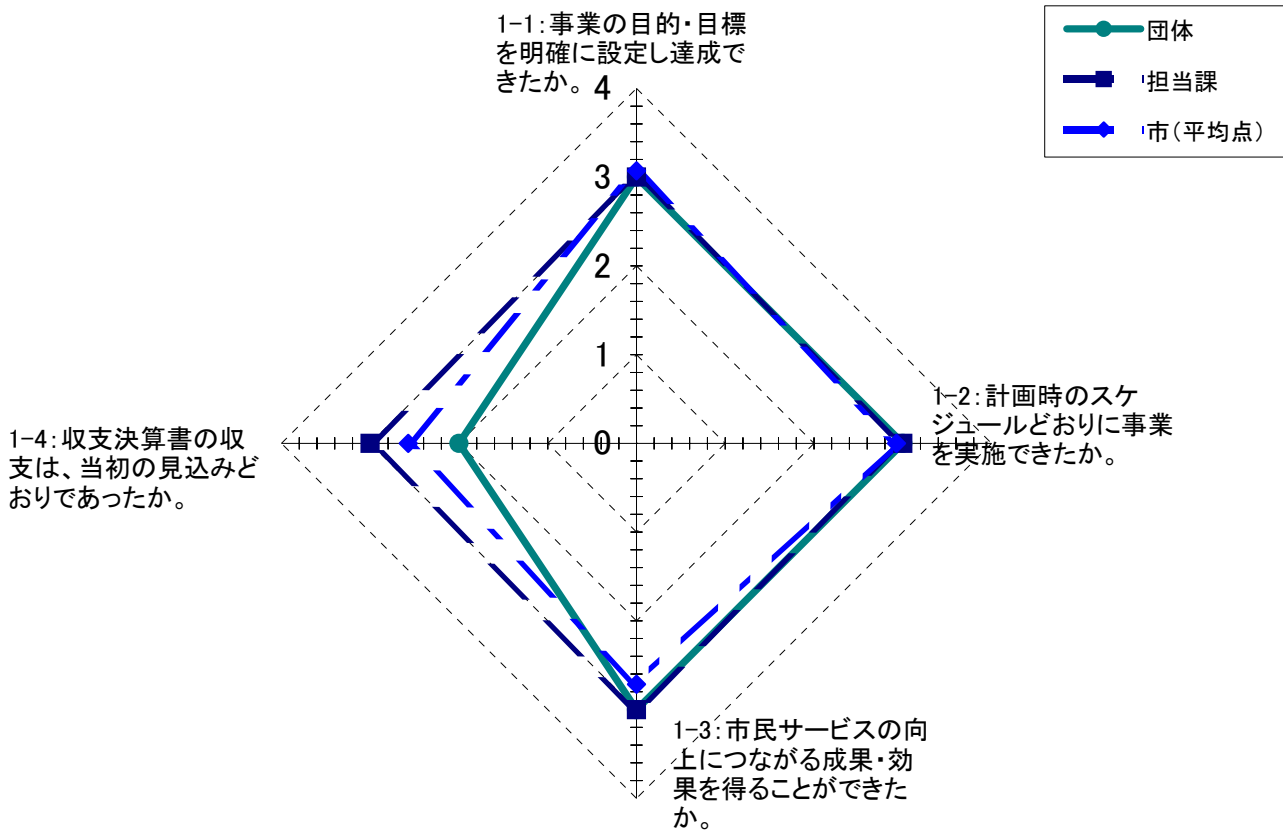
【採点基準】

事業名 藤沢の自然観察ガイド作成事業
 団体名 神奈川県植物誌会藤沢グループ
 担当課 まちづくりみどり推進課

できなかった	0
あまりできなかった	1
ほぼできた	2
できた	3
非常によくできた	4

1、事業結果の振り返り(効果・成果)

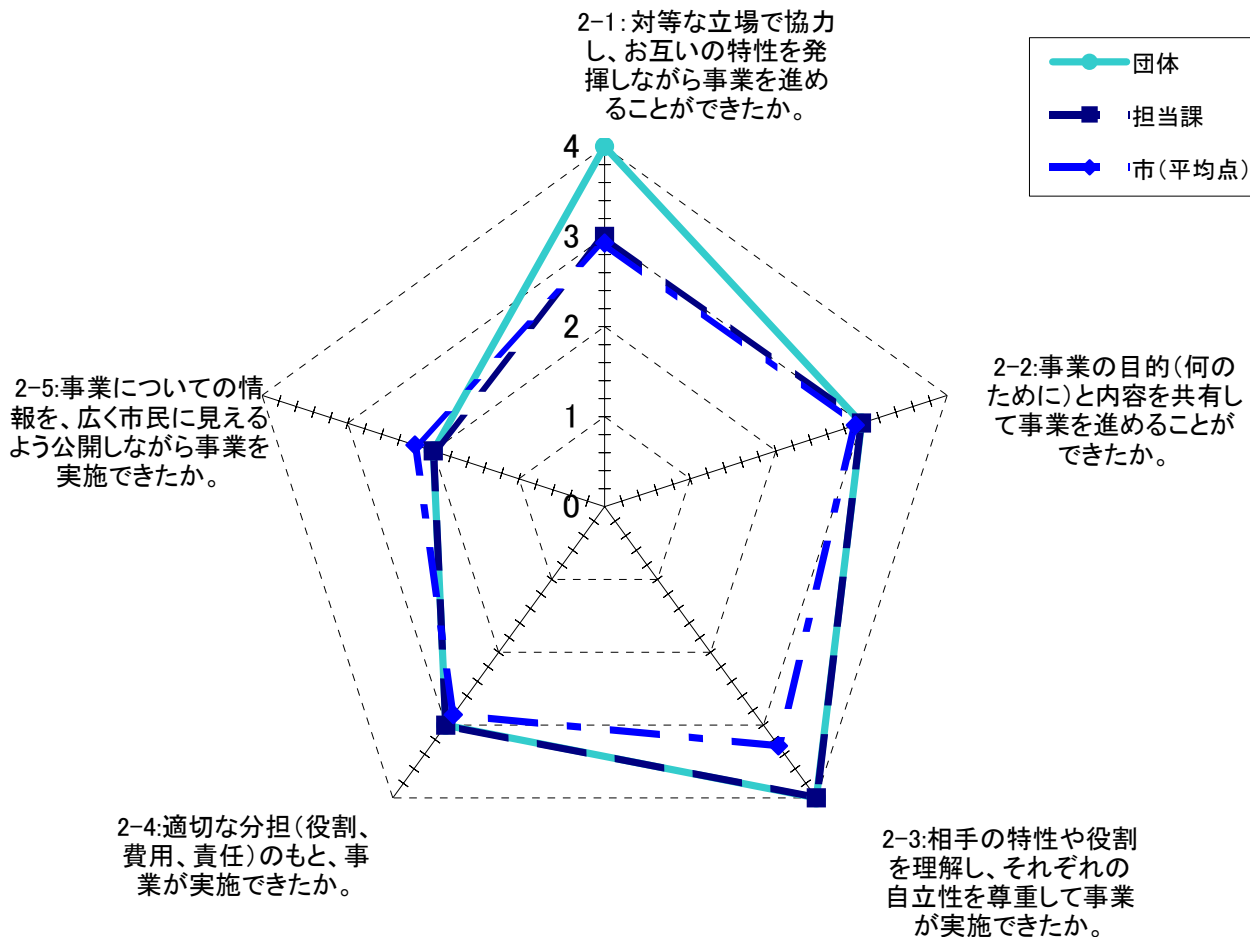
設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
1-1	事業の目的を明確に設定できていたか。	3	3	3.07
1-2	計画時のスケジュールどおりに事業を実施できたか。	3	3	2.93
1-3	市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたか。	3	3	2.71
1-4	収支決算書の収支は、当初の見込みどおりであったか。	2	3	2.57



1-4について、団体が「ほぼできた」としている以外、他の項目については団体・担当課ともに「できた」との評価で一致しています。市の評価については、団体または担当課の点数をわずかながら下回る項目があるものの、ほぼ均一の点になっています。1-4において3者の評価に若干のばらつきはあるものの、それほどの点差はなく、本事業は当初の計画通り、実施され市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたと考えられます。今後は収支予算に留意し、さらに事業を発展させていきたいと思っております。

2. 協働の原則からの振り返り

設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
2-1	対等な立場で協力し、お互いの特性を発揮しながら事業を進めることができたか。	4	3	2.93
2-2	事業の目的(何のために)と内容を共有して事業を進めることができたか。	3	3	2.93
2-3	相手の特性や役割を理解し、それぞれの自立性を尊重して事業が実施できたか。	4	4	3.29
2-4	適切な分担(役割、費用、責任)のもと、事業が実施できたか。	3	3	2.86
2-5	事業についての情報を、広く市民に見えるよう公開しながら事業を実施できたか。	2	2	2.21



団体と担当課の評価については、2-5を除いて「できた」以上の高い評価となっており、また、2-1以外の項目について、団体と担当課の評価は一致しており、2-3については団体・担当課とも「非常によくできた」としています。市の評価については、2-5について、他の項目より点数が低くなっています。3者の各項目の点数に若干の差があるものの、グラフの傾向は同様です。

2-3で団体と担当課が最高点で一致することは非常によい関係の下、充実した協働事業が実施されたことがうかがえます。

今後は事業の情報を広く市民に公開していくべきを行い、事業をさらに発展させていきたいと思います。

3 講評

団体のもつ市民としての専門性が協働事業に活かされており、それが期待される成果を生む源泉となっていると感じている。わかりやすい内容で有効性が高い。事業報告の過程で、行政はどのようなフォローをしたか、収支報告レベルのチェックは行政も一緒に行うべきものである。次年度は、より多くの市民を巻き込むような取り組みを期待する。また、ガイド資料の電子情報化が今後の課題である。

※この講評は、協働事業を実施した団体と担当課及び審査選定を行った市の協働事業推進会議と審査選定にご意見を頂いた市の審議会である藤沢市市民活動推進委員会からの意見について、代表的なものを要約してまとめたものです。

平成21年度実施協働事業の振り返り(気づきの共有から改善へ)

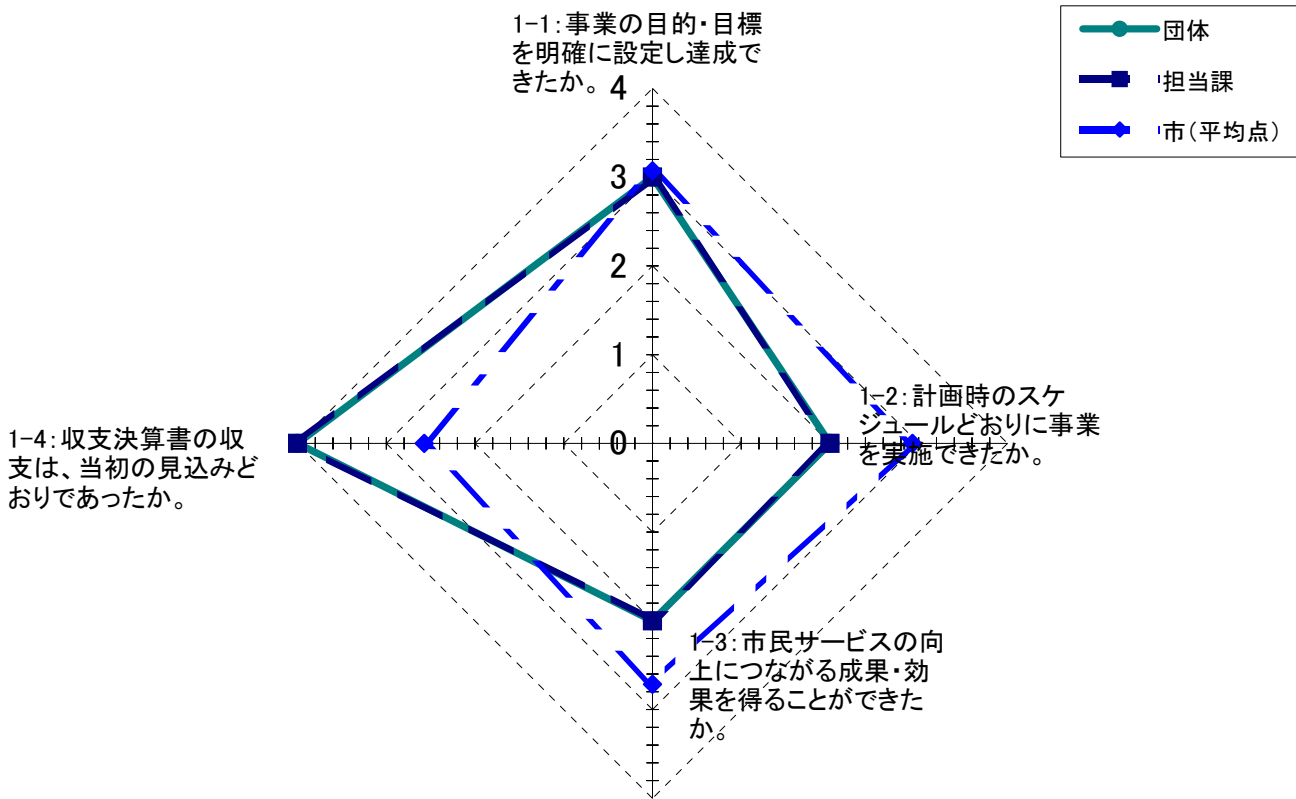
【採点基準】

事業名 メールマガジン配信事業
 団体名 (特非)地域魅力
 担当課 広報課

できなかった	0
あまりできなかった	1
ほぼできた	2
できた	3
非常によくできた	4

1、事業結果の振り返り(効果・成果)

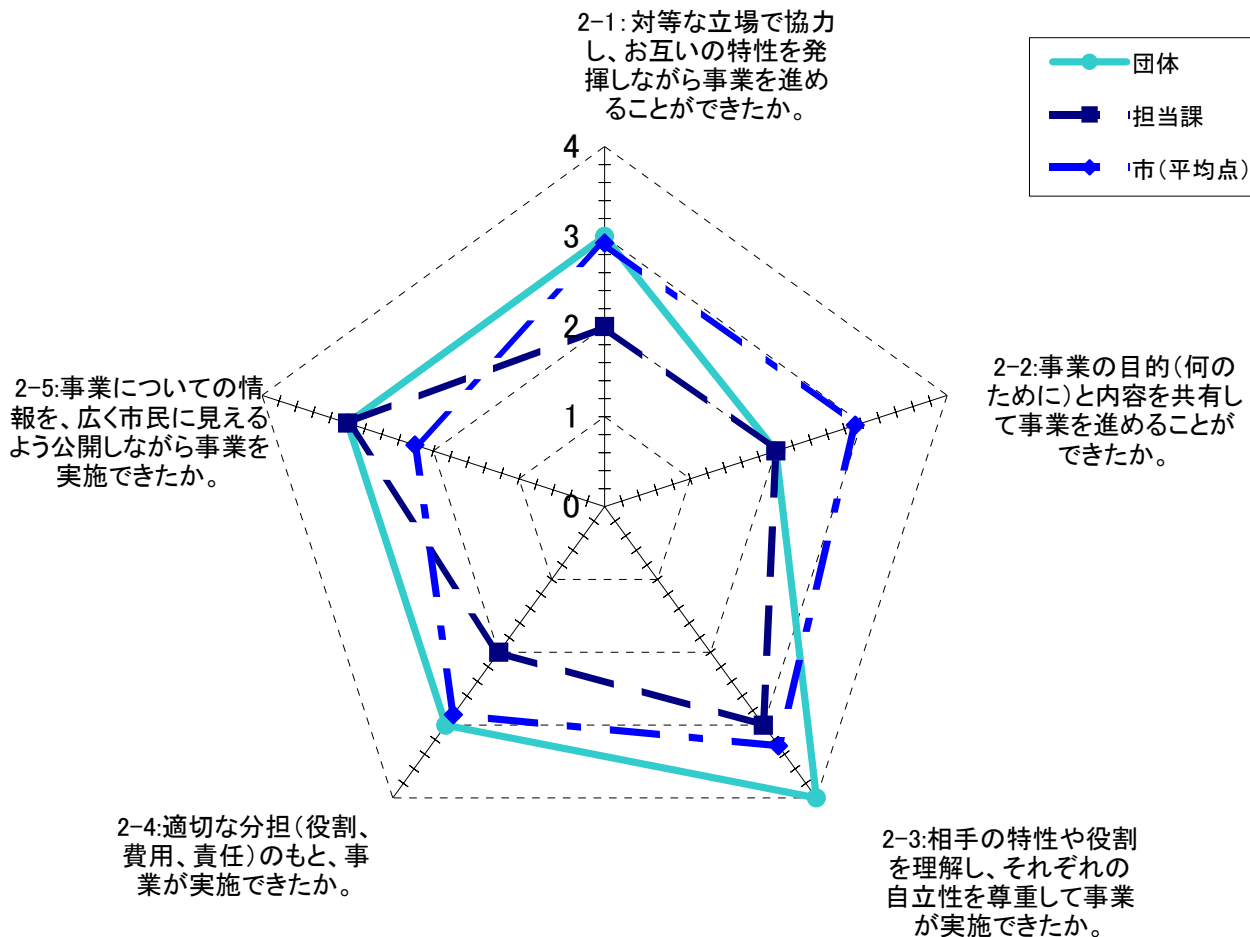
設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
1-1	事業の目的を明確に設定できていたか。	3	3	3.07
1-2	計画時のスケジュールどおりに事業を実施できたか。	2	2	2.93
1-3	市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたか。	2	2	2.71
1-4	収支決算書の収支は、当初の見込みどおりであったか。	4	4	2.57



団体・担当課の評価はすべての項目で一致しています。市の評価については、全ての項目についてほぼ均一となっており、団体・担当課と市の評価とは1-1において点数が一致していますが、グラフの形状は異なります。また、1-2および1-3については団体・担当課の評価は「ほぼできた」と少し低い点数となっています。今後は、計画時のスケジュールに留意し、団体・担当課が市民サービスの向上につながる成果を得ることができたと実感できるよう、明確な目標を立て、さらに事業を発展させていただきたいと思えます。

2. 協働の原則からの振り返り

設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
2-1	対等な立場で協力し、お互いの特性を發揮しながら事業を進めることができたか。	3	2	2.93
2-2	事業の目的(何のために)と内容を共有して事業を進めることができたか。	2	2	2.93
2-3	相手の特性や役割を理解し、それぞれの自立性を尊重して事業が実施できたか。	4	3	3.29
2-4	適切な分担(役割、費用、責任)のもと、事業が実施できたか。	3	2	2.86
2-5	事業についての情報を、広く市民に見えるよう公開しながら事業を実施できたか。	3	3	2.21



団体・担当課・市のグラフの形状が異なる結果となりましたが、各項目の点差については、それほど差はありません。団体と担当課が一致している項目は2-2と2-5となっています。担当課の評価では、2-1と2-4について団体より低い点数となっています。2-5については、市の評価が団体・担当課の評価を下回っています。2-3については、担当課・団体ともに高い点数をつけており、よい関係の下、事業が行われたことがうかがえます。今後は、目的と内容の共有をさらに深めながら協力して事業にあたっていただきたいと思います。

3 講評

NPOと市で協議し、協働事業で実施する範囲を明確にしていきたい。数多くのメルマガを同時運営していくのは大変だと思うが、それを市民がどのように受け止め、評価しているのかを検証しないと、一方的な情報の発信だけで終わってしまう。その全てが必要なものなのかどうかも含めて検証していくことも大切ではないだろうか。また、本事業の推進過程で、市民の目線での魅力が感じられ親しまれるメールマガジンの拡充に対して苦勞している様子は理解できるが、メールマガジンに関する事業の基本はいかに登録者をより多くしていくかであると思う。そのための具体的方策の構築と実践が不可欠ではと思う。今後の活動を見守りたい。

※この講評は、協働事業を実施した団体と担当課及び審査選定を行った市の協働事業推進会議と審査選定にご意見を頂いた市の審議会である藤沢市市民活動推進委員会からの意見について、代表的なものを要約してまとめたものです。

平成21年度実施協働事業の振り返り(気づきの共有から改善へ)

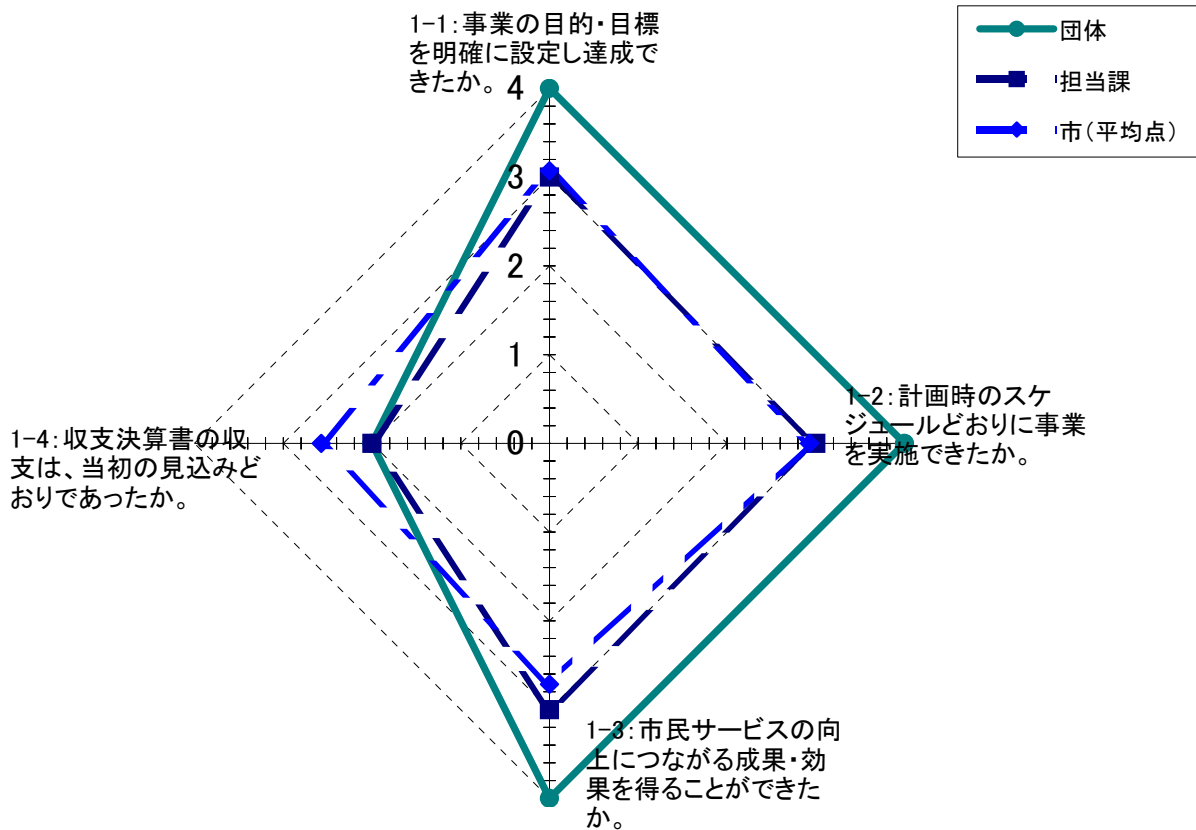
【採点基準】

事業名 傾聴ボランティア育成・派遣事業
 団体名 (特非)シニアライフセラピー研究所
 担当課 高齢福祉課

できなかった	0
あまりできなかった	1
ほぼできた	2
できた	3
非常によくできた	4

1、事業結果の振り返り(効果・成果)

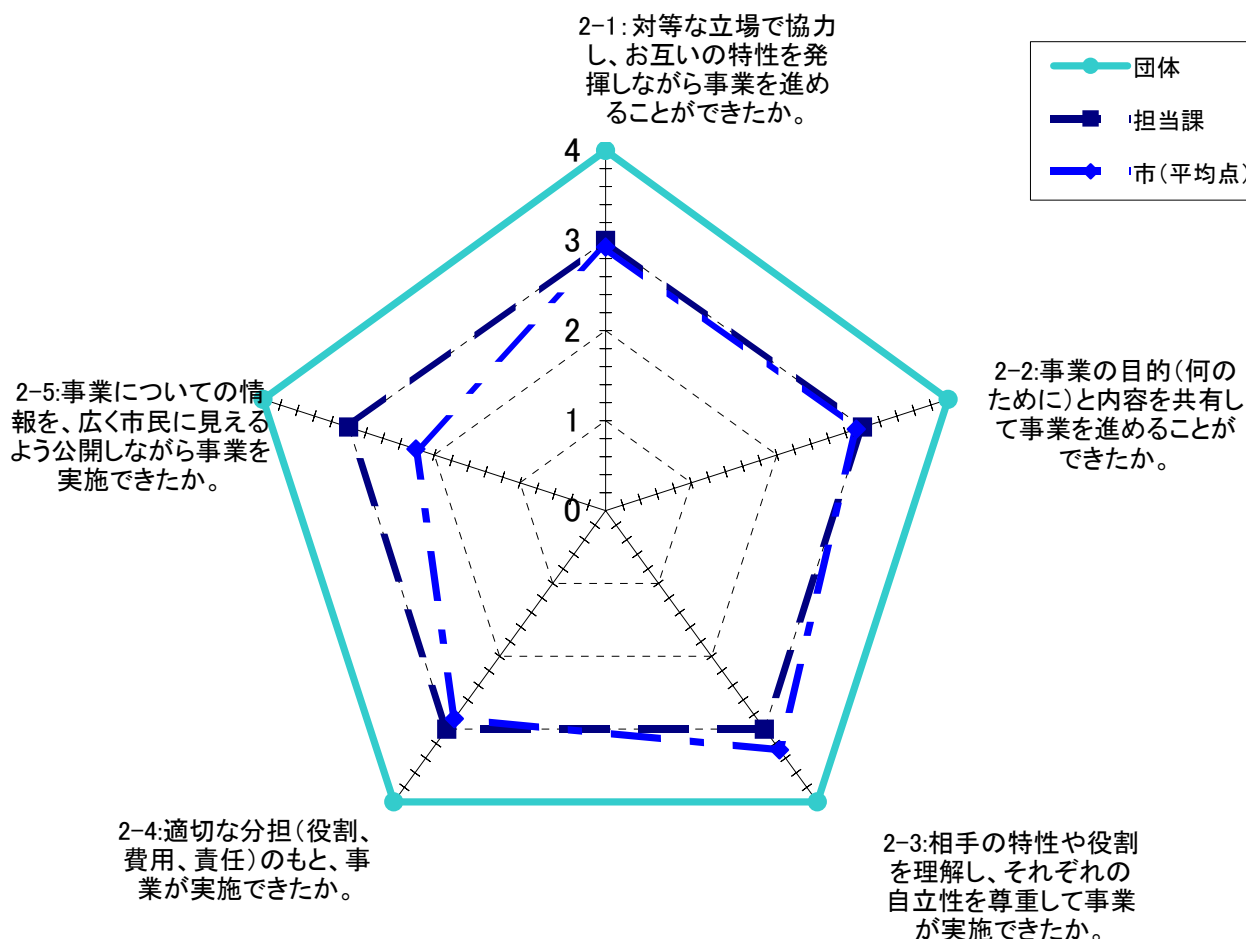
設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
1-1	事業の目的を明確に設定できていたか。	4	3	3.07
1-2	計画時のスケジュールどおりに事業を実施できたか。	4	3	2.93
1-3	市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたか。	4	3	2.71
1-4	収支決算書の収支は、当初の見込みどおりであったか。	2	2	2.57



1-4以外の項目は全て、団体は「非常によくできた」、担当課は「できた」という高い点数をつけています。市の評価については、ほぼ均一となっています。1-4の項目について、団体・担当課と市に若干の点差があるものの、全体の傾向は同様です。
 本事業は事業の目的が達成され、市民サービスの向上につながる成果・効果も得られたと考えられます。今後の事業実施にあたっては、収支予算に留意して事業を行っていただきたいと思いをします。

2、協働の原則からの振り返り

設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
2-1	対等な立場で協力し、お互いの特性を發揮しながら事業を進めることができたか。	4	3	2.93
2-2	事業の目的(何のために)と内容を共有して事業を進めることができたか。	4	3	2.93
2-3	相手の特性や役割を理解し、それぞれの自立性を尊重して事業が実施できたか。	4	3	3.29
2-4	適切な分担(役割、費用、責任)のもと、事業が実施できたか。	4	3	2.86
2-5	事業についての情報を、広く市民に見えるよう公開しながら事業を実施できたか。	4	3	2.21



全項目について団体は「非常によくできた」と評価し、担当課は「できた」と評価しています。市については2-5の項目以外は担当課と同じような点数になっていますが、2-5については団体と市の評価の間に点差が生じています。団体と担当課の評価に若干の差があるものの、5項目とも高い点数がついているという点で、充実した協働事業が実施されたと考えられます。今後、事業の実施にあたっては、市民へ広く情報公開がなされているかに留意して実施していただきたいと思います。

3 講評

市民が提案した事業が3年間、成果をあげ続けたこと、さらに、協働事業終了後も継続する道筋が示されたことは、このような協働事業の成功例として評価されるものと考えます。行政側はこの事業をどのように捉えているのか結局ははっきりしなかった。事業内容は良く、NPOもしっかりしているだけにパートナーシップに疑問が残ったのは残念。活動の有効性は評価できるが、実習調整の課題が気になる。施設側受け入れの問題なのか実習生の個性の問題なのか。十分練ったプログラム作成を期待する。

※この講評は、協働事業を実施した団体と担当課及び審査選定を行った市の協働事業推進会議と審査選定にご意見を頂いた市の審議会である藤沢市市民活動推進委員会からの意見について、代表的なものを要約してまとめたものです。

平成21年度実施協働事業の振り返り(気づきの共有から改善へ)

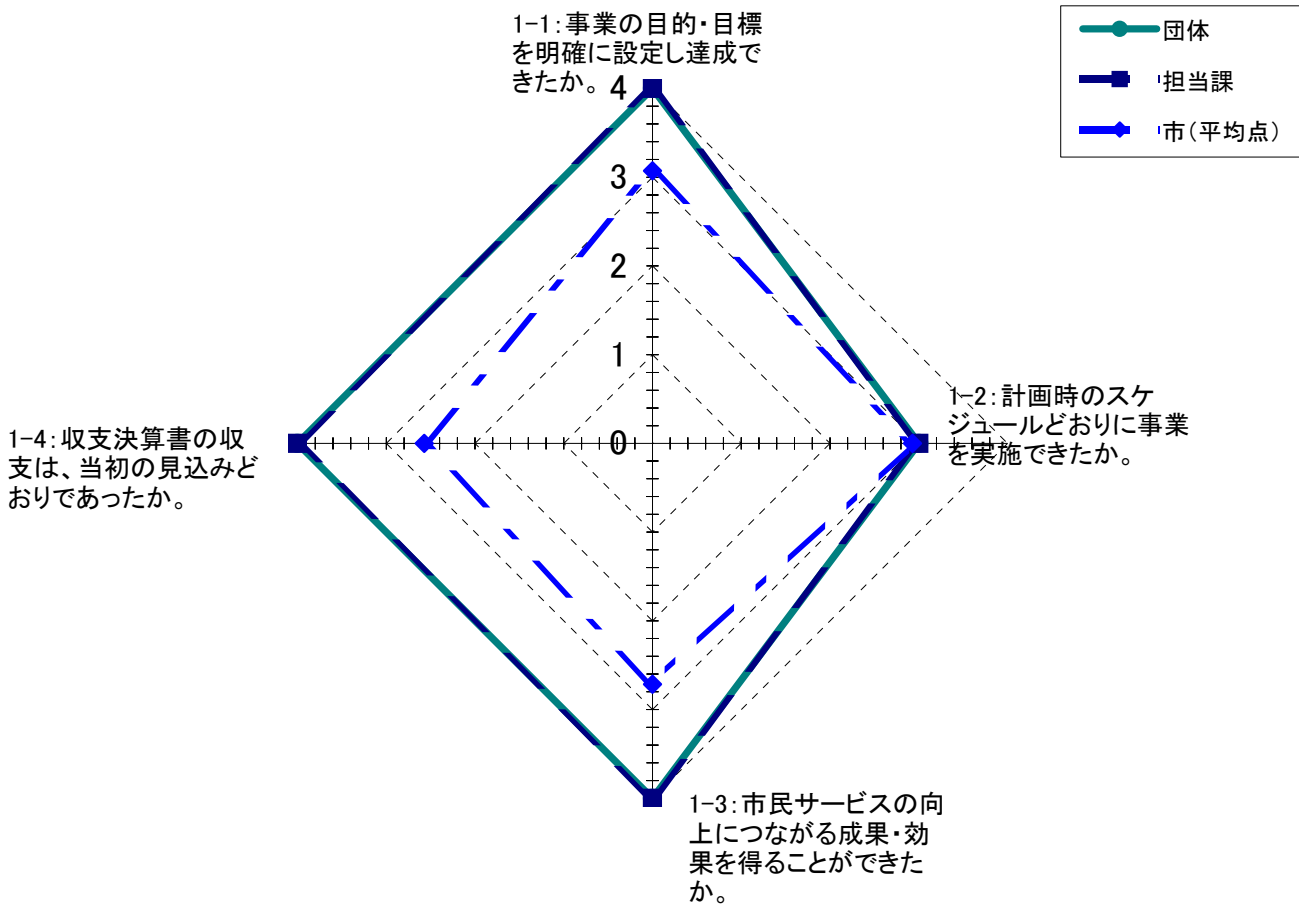
【採点基準】

事業名 藤沢の「食」によるシティプロモーション調査研究事業
 団体名 (特非)地域魅力
 担当課 経営企画課

できなかった	0
あまりできなかった	1
ほぼできた	2
できた	3
非常によくできた	4

1、事業結果の振り返り(効果・成果)

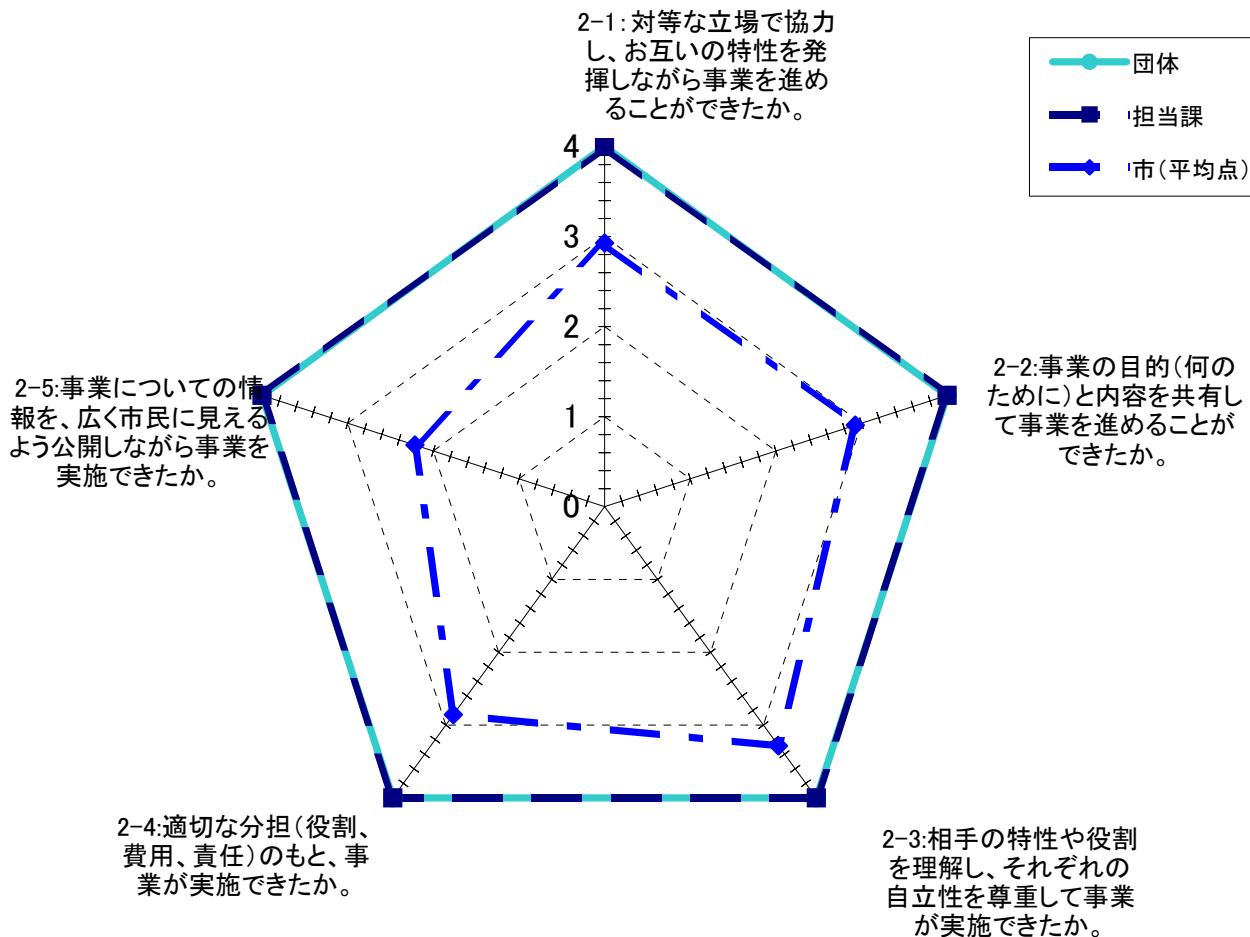
設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
1-1	事業の目的を明確に設定できていたか。	4	4	3.07
1-2	計画時のスケジュールどおりに事業を実施できたか。	3	3	2.93
1-3	市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたか。	4	4	2.71
1-4	収支決算書の収支は、当初の見込みどおりであったか。	4	4	2.57



団体・担当課とも1-2を除いて全ての項目について、「非常によくできた」としています。市の評価については1-2を除いて団体・担当課の点数を下回っていますが、ほぼ均一な点数となっています。本事業については、団体・担当課の評価が高い点数で一致しており、事業の高い達成度がうかがえます。今後は、スケジュール管理に留意していただき、さらに事業をはってんさせていただきたいと思ひます。

2、協働の原則からの振り返り

設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
2-1	対等な立場で協力し、お互いの特性を発揮しながら事業を進めることができたか。	4	4	2.93
2-2	事業の目的(何のために)と内容を共有して事業を進めることができたか。	4	4	2.93
2-3	相手の特性や役割を理解し、それぞれの自立性を尊重して事業が実施できたか。	4	4	3.29
2-4	適切な分担(役割、費用、責任)のもと、事業が実施できたか。	4	4	2.86
2-5	事業についての情報を、広く市民に見えるよう公開しながら事業を実施できたか。	4	4	2.21



全項目について団体・担当課が”非常によくできた”と同評価をしています。市については2-5について団体・担当課との点差がありますが、他の項目についてはほぼ均一点数となっています。
 団体と担当課の点が、5項目とも最高点で一致することは特筆すべきことであり、良い関係の下、非常に充実した協働事業が実施されたことがうかがえます。今後の事業実施にあたっては、現状に満足することなく、事業についての情報を広く市民に公開していくことに工夫をしていただき、さらに充実した協働事業を実施していただきたいと思ひます。

3 講評

地産地消の考え方や地域経済の発展につながることは素晴らしいが、NPOと市の協働事業であるのであり、調査研究である以上、藤沢炒麺と販路拡大とは別としていただきたい。また、食によるシティプロモーションの発想と取り組みは評価できるが「炒麺」の独自性が見えない。内容の向上と麺以外の商品開発のためにメニュー検討に市民参加が必要ではないか。協働のパワーを感じさせる事業で、コストパフォーマンスはとても良かったのではないか。NPOの調子を阻害することなく、進めていただきたい。

※この講評は、協働事業を実施した団体と担当課及び審査選定を行った市の協働事業推進会議と審査選定にご意見を頂いた市の審議会である藤沢市市民活動推進委員会からの意見について、代表的なものを要約してまとめたものです。

平成21年度実施協働事業の振り返り(気づきの共有から改善へ)

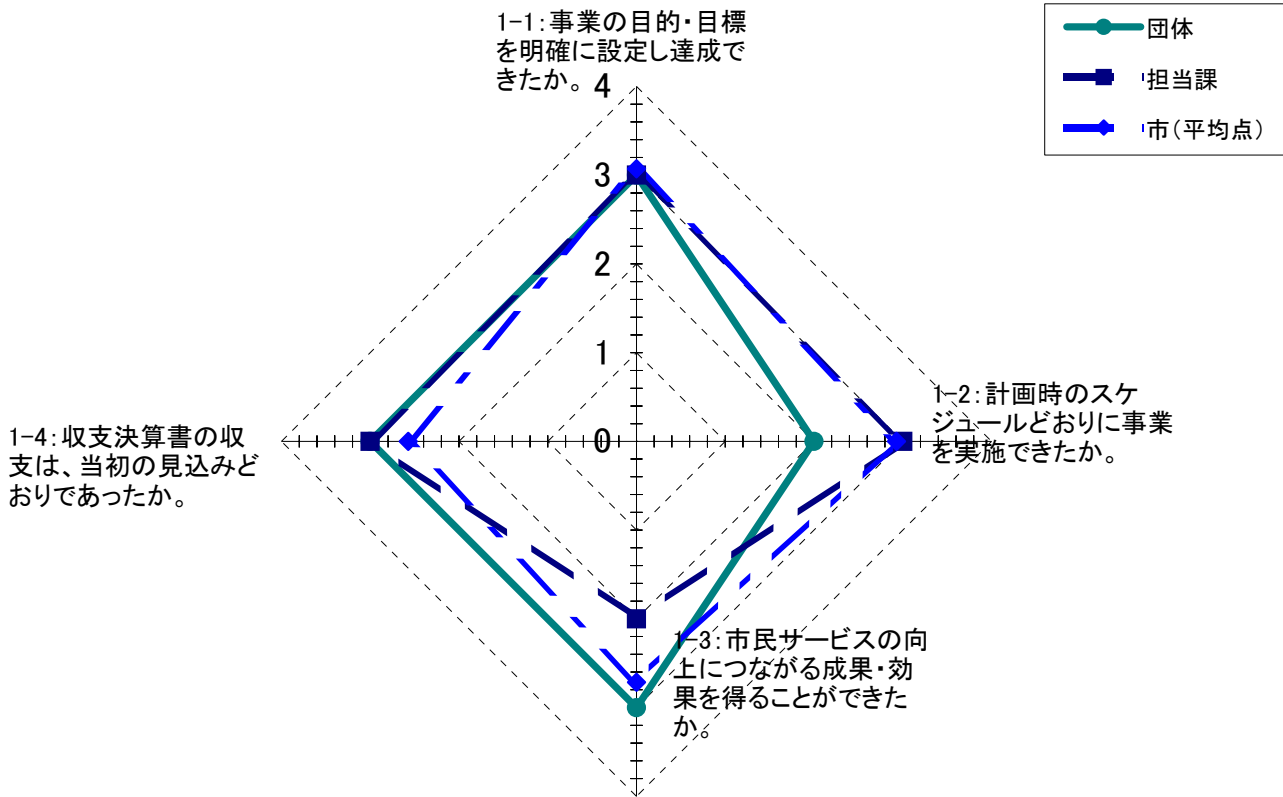
【採点基準】

事業名 ジュニアライフセービング教室事業
 団体名 (特非)西浜サーフライフセービングクラブ
 担当課 教育指導課

できなかった	0
あまりできなかった	1
ほぼできた	2
できた	3
非常によくできた	4

1、事業結果の振り返り(効果・成果)

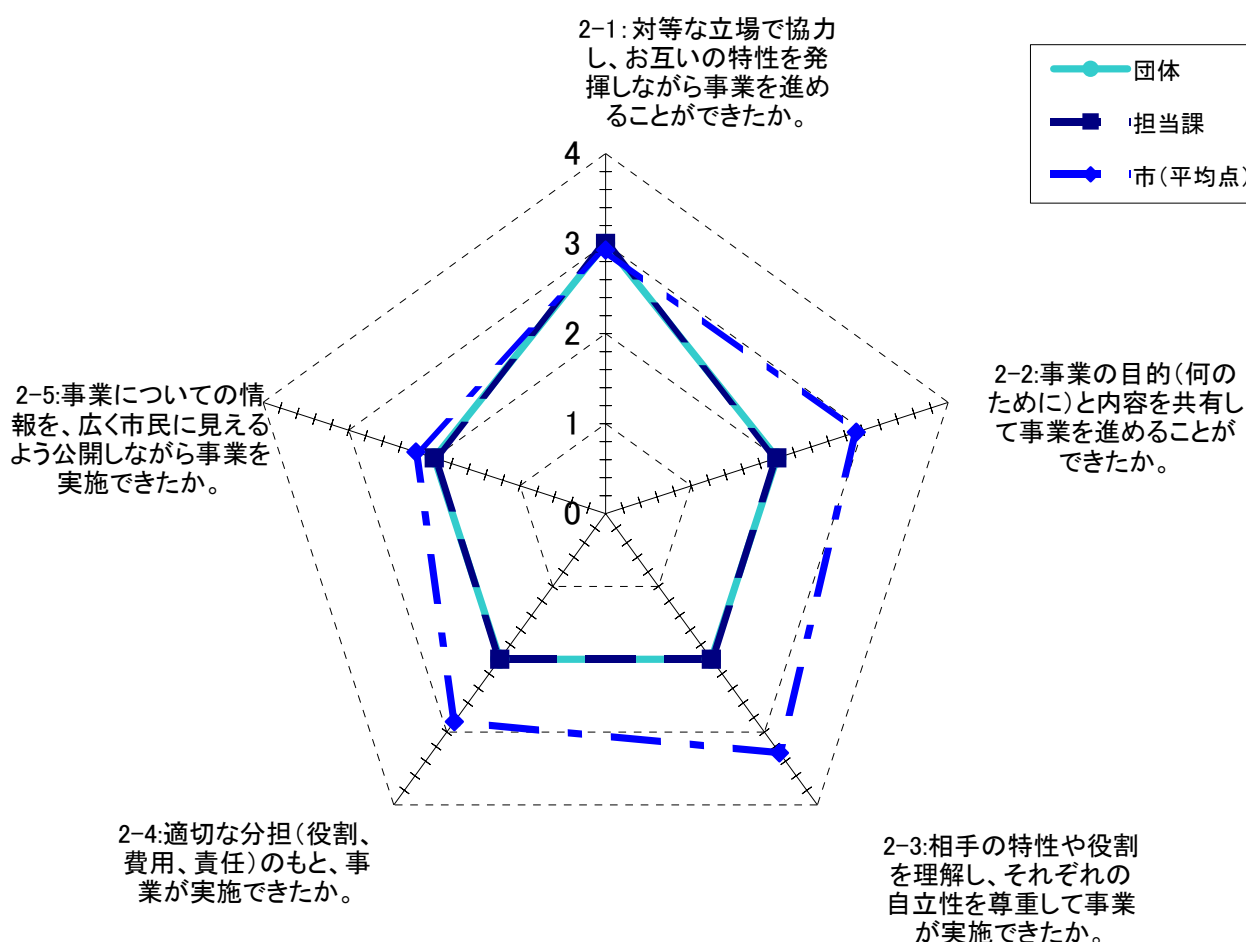
設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
1-1	事業の目的を明確に設定できていたか。	3	3	3.07
1-2	計画時のスケジュールどおりに事業を実施できたか。	2	3	2.93
1-3	市民サービスの向上につながる成果・効果を得ることができたか。	3	2	2.71
1-4	収支決算書の収支は、当初の見込みどおりであったか。	3	3	2.57



1-1および1-4について、団体と担当課の評価は一致しています。1-2および1-3について、団体と担当課の評価にそれほど差はなく、また、市の評価については高い点でほぼ均一となっています。これらのことから、本事業については当初の計画通り事業が実施され、市民サービスの向上につながる成果・効果を得られたと考えられます。今後の事業実施にあたっては、スケジュールに留意し、事業実施者が成果・効果を充分に実感できるよう、明確な目標を立て、行っていただきたいと思ひます。

2. 協働の原則からの振り返り

設問	内容	団体	担当課	市(平均点)
2-1	対等な立場で協力し、お互いの特性を發揮しながら事業を進めることができたか。	3	3	2.93
2-2	事業の目的(何のために)と内容を共有して事業を進めることができたか。	2	2	2.93
2-3	相手の特性や役割を理解し、それぞれの自立性を尊重して事業が実施できたか。	2	2	3.29
2-4	適切な分担(役割、費用、責任)のもと、事業が実施できたか。	2	2	2.86
2-5	事業についての情報を、広く市民に見えるよう公開しながら事業を実施できたか。	2	2	2.21



全項目について団体・担当課の点数が一致しており、2-1以外の項目については全て「ほぼできた」としています。市の評価については、2-1を除いて団体・担当課の評価を上回っており、団体・担当課との点差は2-5の項目で最も小さく、2-3の項目で最も大きくなっています。
 本事業については、協働の原則に基づいて事業が行われたと考えられます。今後は目的と内容の共有・相手への理解をさらに深め、事業についての情報をより広く市民に公開することに留意し、より充実した協働事業を発展させていただきたいと思えます。

3 講評

事業は期待通りの出来。NPO側の評価が20%というのはこの事業に賭ける思いが出ていて良い。こうした熱い思いを協働の中で行政は学んでいくべき。市民活動団体が提案した事業が、学校教育の現場で実施できたこと自体、協働の大きな成果ではないか。事業を通じて今後の課題も明らかになっているので、より充実した事業の実施を期待する。講義形式に加えて、体験型のプログラムの充実を図っていただきたい。

※この講評は、協働事業を実施した団体と担当課及び審査選定を行った市の協働事業推進会議と審査選定にご意見を頂いた市の審議会である藤沢市市民活動推進委員会からの意見について、代表的なものを要約してまとめたものです。